

国の財政悪化、大垣市政を直撃！

9月議会では、総額9,080万円の補正予算が提案され、原案通り可決されました。その中には、道路の新設改良費2.8千万円、水路改良費2.2千万円等、市民の願いに応えるものもありましたが、国、県の補助金がかかず、やむなく工事の延期、財源を市債と一般財源に変更せざるを得ないことがおきています。

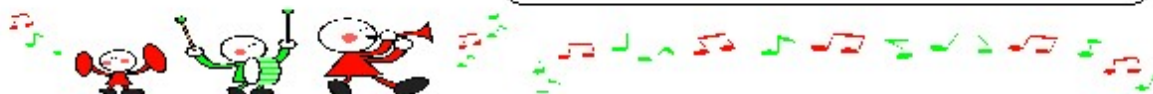
かわなみ作業所改築費 国・県の補助金カット

9月議会に「かわなみ作業所」の改築工事が、総工費4億2千万円、建築年度平成16年～17年度で、国庫補助金もしくは県補助金の対象事業として提案されました。

そして16年度予算では、国・県の補助金5487万5千円を前提に、1億1910万円の予算がつけました。ところが、国の補助金が不採択となり、補助金がかからないことが確定となりました。今年度は着工時期を3ヶ月遅らせ、補正予算で9300万円を減額し、翌年度まわしになりました。来年度も国庫補助の見通しは暗く、当初予定していた国・県の補助金総額1億9275万円は、まるごと大垣市の負担になりそうです。

学校建設でも国庫補助のめど立たず

江並中学の技術棟建設費6350万円は国庫補助の目途がたたず、大垣市の単独事業となりました。財源は地方債と一般財源です。



「三位一体の改革」、 教育・福祉施設の建設事業を直撃

平成16年度の国家予算は「三位一体の改革」が本格化し、地方交付税の大幅削減と公共事業関係も含め、国庫補助負担金が4兆円も削減されました。

大垣市も地方交付税が前年度より15.7%減、3億4千万円削減され、厳しい予算編成を強いられました。そして今度は、かわなみ作業所の改築工事や学校建設事業の、国が負担すべき補助金を削減しました。

大垣市の学校は校舎の老朽化が進み、順次建て替えの時期にきています。また耐震工事を行わなければならない校舎もあり、このようなところには補助金の投入が不可欠です。

自衛隊のイラク派兵等の軍事費増加、高速道路建設、徳山ダム建設等の無駄な公共工事を中止すれば、政治の流れを教育、福祉重点に転換することが可能です。

市会議員 笹田トヨ子

幼保園の具体化進む

赤坂および綾里で幼保園の準備が進み、平成17年度から幼保園としてスタートできるよう、10月に特区申請を行い、園児募集も他の幼稚園や保育園とあわせて園児募集を行うと報告がありました。

あさくさ、和合保育園で 民営化地元説明会

「幼保園一元化将来構想(案)」で民営化の対象にあげられている、あさくさ保育園と和合保育園では、保護者・自治会など地元住民を対象に「保育園の民営化について」、計9回の説明会を行ったと報告がありました。まだ地元住民の意見集約までに至っていないということですが、説明会では民営化するまでのスケジュール(案)など話されたとのこと。それによると、移管先法人選考委員会を設置し、公募による選考、移管先法人の応募資格は西濃地域にある社会福祉法人となっています。

特養施設 「清心苑」を建設

- ・設置者：社会福祉法人清心会
(ハートサービス)
- ・場所：矢道町
- ・規模：特養80床、ショートステイ20床
- ・総事業費 約13億9200万円(内国県の補助率36.1%)
- ・完成時期：平成17年8月1日



ご意見・ご質問等はこちらへ TEL 81-1389
<http://www.sasada-toyoko.jp/>
e-mail: sanbal@sasada-toyoko.jp